

今回も昨年同様に 3 人の先生方にご講演いただきました。

講演 1 では JSWN でもご活動され、第 17 回 JSWN 総会で当番幹事をされる名古屋第二赤十字病院第一腎臓内科部長でいらっしゃる武田朝美先生に、新しい薬剤性腎障害—腎病理所見を中心に一というテーマでお話しいただきました。武田先生は皆さまご周知のように腎病理、特に移植腎病理に精通されておりますが、今回はその中でも薬剤、特に免疫抑制薬や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬による腎障害など、最近の話題を含めて先生の豊富な知識とご経験に基づいた内容でご講演いただき、日々の臨床に直結した内容で大変勉強になりました。

講演 2 では江戸川病院で泌尿器科部長、透析センター長、移植再生医療センター長を兼務されている古賀祥嗣先生に、江戸川病院における PD の取り組み～院内体制構築から地域連携へ PD 患者 0 から 100 へ～というテーマで、お話しいただきました。古賀先生が江戸川病院の PD 体制を一から整えていかれた過程、また訪問看護や診療所の先生方などとの連携によりさらに地域的に PD 医療を拡げ、支えていかれている状況を詳しく教えていただきました。私たちの今後の PD 医療への取り組みに大変参考になり、また大きなヒントを与えていただいたご講演でした。

講演 3 では慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科教授で、現在日本高血圧学会理事長でもいらっしゃる伊藤裕先生に、腎腸関連の謎という大変興味深いテーマでご講演いただきました。糖尿病の新しい治療薬である SGLT-2 阻害薬の糖尿病改善以外の様々な効果や、環境因子

などのエピゲノム修飾による臓器の記憶が将来の体質に影響すること、腸内細菌フローラが様々な病態に影響すること、腎臓病と腸や腸内環境との関連など、様々な実験結果などを含めて大変多くの情報をご教授いただきました。

今回の講演会では、男性の先生方も含めて過去最大の49名の先生方にご参加いただきました（WNFK会の世話人は女性だけで構成されていますが、講演会自体は性別を問わず参加いただける会となっております）。

また世話人会では代表世話人の武曾先生からのご挨拶、JSWNの活動内容のご報告とともに、今後顧問になられることを表明されました。代表世話人の後任は本幹事会にて関西福祉大学の中村敏子先生がされることに決定いたしました。また新たに世話人も増えまして、さらに活気のある会に発展していくものと確信しております。

今回の当番幹事を通じ、このような多彩な内容で開催できる研究会はかなり希少で大変有意義な会であることを再認識いたしました。これからもこの会が継続し、より発展していくことを願い、微力ながらも尽力を果たしたいと存じます。

最後になりましたが、本講演会開催に関しましていろいろご助言をいただきました世話人の先生方、ご多忙の中ご参加いただきました先生方、ご協力いただきました製薬会社の方々に深謝申し上げます。